

令和4年3月18日

生徒及び保護者 様

本山町立嶺北中学校長
高知県立嶺北高等学校長

春休みにおける部活動の対応について

浅春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援いただき心より感謝申し上げます。

さて、県内の新型コロナウイルスの感染状況は、現在、高止まりの状況が続いており、今後も気を緩めることなく対策を講じることが求められています。このような状況の中、部活動等においては、今後、公式戦や発表会等への生徒の参加機会が増えてくることから、対応方針が県教育委員会より示されました。本校では、その対応方針を踏まえ、マスク着用、三密の回避、手指消毒、感染リスクの高い教育活動の禁止など基本的な感染防止対策に引き続き取り組むとともに、春休み中の部活動については下記のように対応することとしました。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、生徒の皆さんは、部活動はもとより、登下校中や日常生活における感染リスクの高い活動や場面も避けるよう心がけてください。

記

1 部活動について

(1) 期間

中学校 3月25日(金)～4月6日(水)

高校 3月19日(土)～4月6日(水)

(2) 対応

1日2時間以内の活動を週休日等も含め週5日までとする。また、県内外における練習試合等への参加、合宿については禁止とする。ただし、公式戦の2週間前からは、1日3時間以内の活動を週休日等も含め週5日までとする。

(3) 留意事項

- ・生徒・保護者の意向を確認し、その意思を尊重すること。
- ・できる限り個人での活動とし、感染リスクの高い活動は、原則、実施しないこと。
- ・できる限りマスクを着用して行う活動に工夫すること。
- ・昼食時間を挟まない活動時間の設定を行うこと。
- ・部室での更衣、準備や片付け、ミーティングの際も必ずマスクを着用すること。

※感染状況の変化より対応が変わる場合がありますので、今後とも学校からの連絡をご確認ください。

部活動に参加する生徒の皆さんへ（高校生用）

1 部活動の意義・意味

みなさんは、今所属している部活動で、何を目標にしていますか。個人種目であれば県記録、大会記録、自己ベストなど、団体であれば、優勝、ベスト4、四国大会出場、チームで1勝や日頃の練習の成果を発表する場など、様々な目標があり、練習に励んでいると思います。また、日々の練習では仲間と切磋琢磨し、悔しい思いもしながら、達成感や自分自身の成長を感じたことなど、振り返ると色んなシーンが蘇ってくるのではないでしょうか。

みなさんが一生懸命取り組んでいる部活動は、練習や試合を通して、向上心や忍耐力などを高めるとともに、仲間との絆を高め、自分を大きく成長させ、将来の自分の生き方の基礎となるものを得ることができる貴重な活動といえます。



2 コロナ禍での活動

昨年から新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの生活は大きく変わってきています。人と接することが当たり前だったこれまでの生活から、人との身体的距離をとること、マスクの着用、大勢で集まらないこと、換気を行うことなど、いわゆる3密を避ける生活が普通の生活様式となりつつあります。

このような中、スポーツ活動や文化活動においても感染の広がりを防止するため、大会に参加する際には、2週間の体温測定・体調チェック、体調不良時は医療機関の受診、試合中以外はマスク着用、手指消毒などを行いながら、大会に参加しています。

これは、生徒の皆さんや大会関係者やそのご家族の「命と健康」を守るためのものです。

3 新型コロナウイルスとは

新型コロナウイルスは、自分は「うつっていない」と思っている、実はウイルスを持っていることもあります。感染してもはっきりとした症状が出ないことや、症状が軽いことがあり、このような人たちからも、ウイルスは感染します。そのため、熱などがなくても自分が持っているかもしれないウイルスを周りの人にうつさないために、手洗いやマスクをつけることを忘れずに行うことが大切です。



自分が感染する
だけじゃない

「人に感染させる可能性」は誰でも持っています。

4 大会等（県外遠征等を含む）に参加するために

大会等に参加する生徒の皆さんの体調不良などの状態に対して、①新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合には早めに病院受診をすること、②病院での検査結果が大会等までに分からない場合には参加を控えるように定めています。これは、参加する生徒の皆さんを新型コロナウイルス感染症から守り、安心・安全な大会等にするためのものです。

自分と仲間の「**命と健康を守るため「勇気ある行動」をとろう！**

(1) 体調不良になった場合

自分が感染源になり、多くの仲間に感染を広げないように、自分の好きなスポーツや文化活動からクラスター（集団感染）を発生させないように、一人ひとりが自分の体調管理に責任を持ち、少しでも体調に異変がある場合には早めに医療機関を受診するなど勇気ある行動をお願いします。

(2) 身近な人が感染し、自分が濃厚接触者となってしまう大会開催までに検査結果がわからない場合

同じ部活の仲間が濃厚接触者となり、検査結果が大会等までに判明しない場合は、チームとして参加を辞退することも出てきます。そうなった場合でも、その仲間を責めるのではなく、自分のこととして考えてください。

悪いのは新型コロナウイルス感染症という病気であり、一番辛い思いをしているのは、本人です。自分になりたくてなったわけでもありません。みんなに迷惑をかけて、チームが大会に出れなくなったことを申し訳なく思っていることでしょう。

チームとして参加できなくなること、練習の成果を発揮する場がなくなることはみなさんにとって非常に悔しい出来事になると思いますが、そのことで、仲間を責めるようなことは絶対にしないでください。そういった思いをしないためにも、チームのみんなで声をかけ合いながら感染を予防することを徹底していきましょう。

高校県体においても、大会開催2週間前から開催日までに、①家族に陽性者が確認され自分が濃厚接触者となった、②他の部の友達が陽性者となり、自分が濃厚接触者となった、③自分が陽性者となり、部内の他の部員が濃厚接触者となった事例が発生しています。この事例では、該当する部活動はチームや個人が大会参加を辞退してくれた結果、大会での感染拡大にはつながっていません。

部内で感染者や濃厚接触者が発生した場合には、参加を辞退しなければならないことがあることをみんなですっかりと話し合っておいてください。



誹謗中傷は誰のため
にもなりません。

感染は「いつでも・どこでも・誰にでも」起こること

新型コロナウイルスは、いつでも・どこでも・誰にでも感染する可能性があり、感染者が非難されるべきではありません。

「感染する人が悪い」という考えが広まれば、差別や偏見を恐れて医療機関への受診をためらい、命に関わる状態になってしまったり、周りにいる多くの人に感染させてしまうということにつながります。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、SNS上で感染者に対する誹謗中傷や心無い書き込み等が広がっています。

私たちが向き合う相手はウイルスです。そのことを今一度再認識して、一人ひとりが冷静な行動と、できる限りの予防を心掛けましょう。

